

アメリカミシガン州に来てから 2 ヶ月が経ちました。こちらは北海道よりも緯度が高いということで、昨日までは色づいていた葉もどんと落ちていき一足先に冬の気配が近づいています。

今回は先日あったハロウィンの様子について紹介したいと思います。ハロウィンはカボチャを買うところから始まります。私はホストファミリーと共にカボチャ畑に行きました。そこでは干し草を積んだトラックの荷台に乗って畑を一周します。真っ青な広い空に一面ごろごろと転がっているカボチャ、清々しい空気に囲まれとても気持ちが良かったです。

その次は家の飾りつけです。私の近所には、庭に骸骨がたくさんいるお宅や、巨大な蜘蛛が屋根の上にいるお宅など凝ったものがたくさんあり、日本では見たことのないような光景でした。そしてハロウィンが近づくとカボチャをくりぬきます。初めての体験でしたが上手に顔を彫ることができました。ホストシスターたちは慣れているだけあり、細かく完成度の高いジャック・オ・ランタンが仕上がり感動しました。

さて、いよいよハロウィン当日です。近所を回り、お菓子をもらうトリックオアトリートは 6 時から 8 時ほどに行われます。私は友達やホストシスターと一緒にトリックオアトリートに行きました。ところが今年のハロウィン当日はなんと初雪でした。初雪が降る寒い中、外を歩くので顔は骸骨のフェイスペイント、体は冬の重装備、という格好で挑みました。一時間半のトリックオアトリートの末、私たちは 200 個近くのお菓子をもらいました。こんな大量のお菓子はどうなるのかと聞いたところ、9 歳のホストシスターによると彼女はまだ去年のお菓子をまだ食べきれないそうです。

アメリカで初めての体験の連続、これからもすべて楽しみたいと思います。

白鷗高校 12 期生 次世代リーダー 7 期生 A・K